

名前【 】

南芦屋浜の高潮対策工事 実寸大模型で住民説明 きょうまで海の見え方など確認

昨年9月の台風21号による高潮で浸水被害を受け、護岸のかさ上げが計画される芦屋市の南芦屋浜地区で

18日、防潮堤の実寸大模型を使った近隣住民への説明会が始まった。海が見えるよう防潮堤に設けるアクリ



海が見えるよう、アクリル板を設ける後壁の実寸大模型
芦屋市涼風町

ル板の位置やコンクリートの模様について、県などが現地で見学を募る。11月中旬に工事説明会を開いた後、着工する予定。

高潮対策工事は来夏ごろをめどに、ビーチと南の両護岸で実施。防潮堤を海に近い「中壁」と住宅地などに近い「後壁」の2段階で設け、後壁の一部にはアクリル板を取り付ける。

説明会は潮芦屋ビーチ東駐車場と南緑地西駐車場近くの2カ所で開かれた。後壁の実寸大模型を展示し、住民らに海の見え方を確認

- ① 昨年9月に高潮のため浸水被害を受けた芦屋市の南芦屋浜地区で護岸のかさ上げが計画されています。その高潮をもたらしたのは台風何号でしたか。

台風 号

- ② 新しい防潮堤には海が見えるように工夫がされています。住宅に近い「後壁」の一部に何を取り付けると言っていますか。

- ③ 芦屋市涼風町の小山絵里さんは説明会で実寸大模型などを見て、何と話しましたか。

NIEワークシート／小学高学年～中学校／国語、総合、朝NIE

してもらったほか、両護岸に計4カ所設ける防潮門扉の位置、階段やスロープのイメージ図を公開した。芦屋市涼風町で営むカフェが床上浸水した小山恵理さん(39)は「思った以上に明るいイメージ。台風被害が大きくなっているの、早く整備してほしい」と話した。

説明会は19日午前10時〜午後4時にも現地で開かれる。
(中川 恵)